

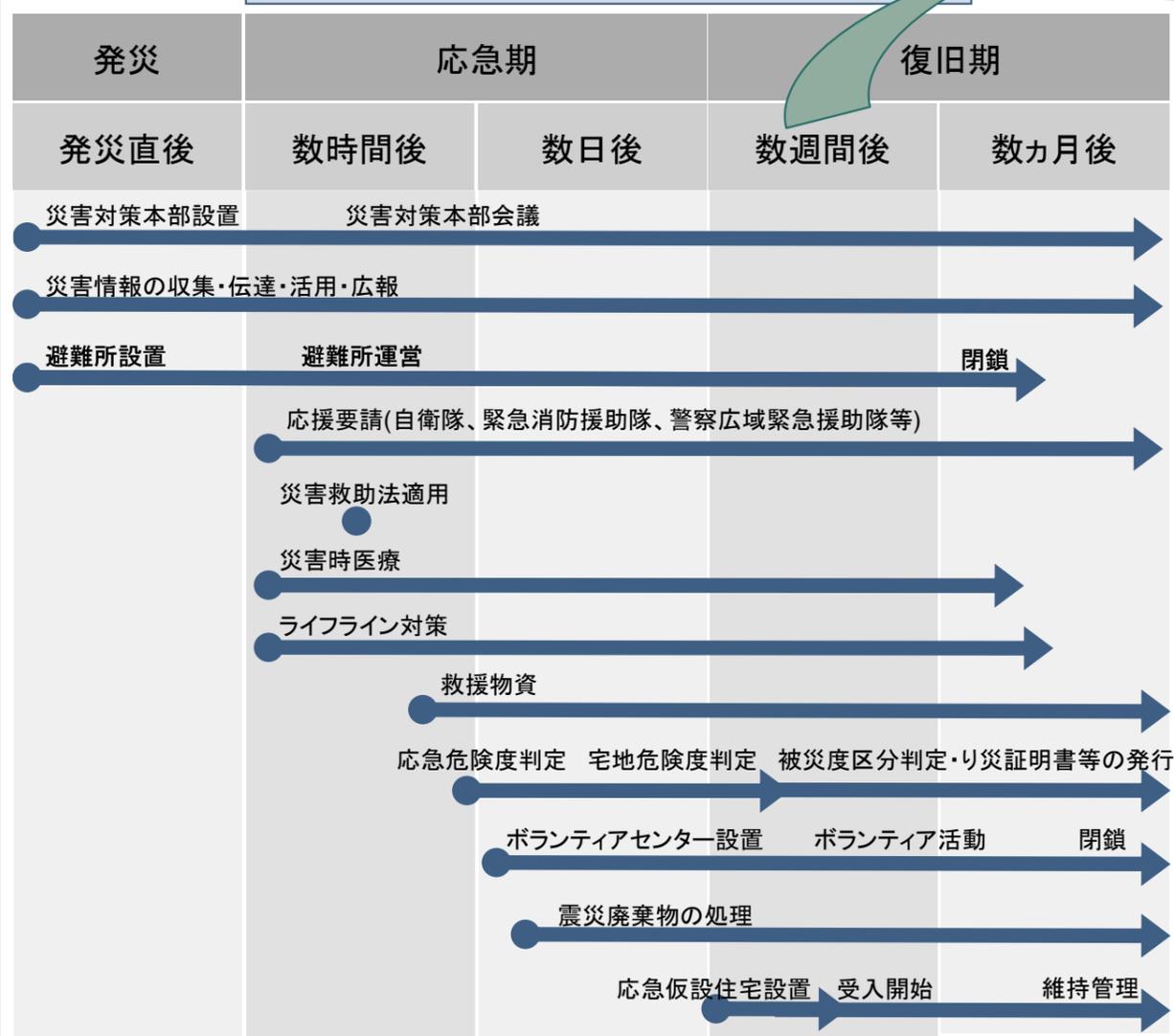
# 本専門調査会の具体的なアウトプット② (地域特性や住民ニーズを踏まえた時系列の災害対応の提示)

- 被災時にはどの段階で何が起こり何をすべきかについての知識・経験が役に立つ。これまでの地方都市での被災経験や対策に関する知識を共有化（形式知化）することが重要
- 行政側の視点だけでなく、被災者等の住民側からの視点も考慮した災害対応も重要

## アウトプット：地方都市の災害対応の標準型

地方都市の災害対応の標準型として①対応の基本的な流れ、②各対策の実施時期の目安・対策内容等を示す

### ①対応の基本的な流れ（全体的なもの）



### ②各対策の実施時期の目安・対策内容（標準型）

#### 【作業イメージ】

・ 既往地震毎に、被災者ニーズ等の住民視点での問題・課題を整理し、それに対して、地域の特徴を踏まえた時系列の対応内容及び課題を併記

既往地震	時期	被災者ニーズ等	実際の対策内容・課題
(例えば) 新潟県 中越地震	初動段階	...	...
	応急段階	...	...
	復旧・復興段階	...	...

地域特性・住民ニーズを踏まえ、時系列の災害対応の標準型として整理

実施時期※1		対策項目・内容※2
準備段階		避難所の耐震化
初動段階	直後～1時間 1～3時間 3時間～1日	避難所開設のための点検の実施 避難所開設、避難者受け入れ 避難所名簿作成、災害情報の広報、指定避難所以外の避難者の所在確認...
応急段階	...	...
復旧・復興段階	...	...

※1：各段階において「直後～2, 3時間」「2, 3時間～1日」等の対応の実施時期の目安を示す  
※2：地域特性によって異なる対応については別記する。

#### 標準型の作成に当たっての留意事項

- ※自治体等の現実的な対応可能性（シーズ）を踏まえる
- ※住民（被災者やそれ以外など）の視点（ニーズ）を評価軸として妥当性を検証
- ※地方都市の特性を考慮して整理（共通的に留意すべき事項、中山間地で特に留意すべき事項...等）